

一般質問・質疑の概要

平成25年12月定例会

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
1	質問 (一問一答)	2 中村 義彦	<p>1、本町地区再開発の調査の進行状況及び、旧北国街道街並保存の施策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧役場周辺は工業大学の開学の地でもあることから産学官による独創的で他の市町村に類をみない開発を行うべきと思うがその点も踏えた構想を示せ ・構想の骨格の仕上がり状況による市民の意見徴収の時期や、2丁目一番街との意見交換等のタイムスケジュールを示せ ・再開発の提案として青森県八戸市のみろく横丁のような30数軒の小さなお店の連なった屋台村の様なものを開発地域の一部に取り入れ昭和の風情漂う仕掛けを行い商工会等との連携を図り新たな商業空間を作ればどうか ・旧北国街道沿いを国から伝統的建造物群保存地区の指定を受け市独自の景観条例策定を目指した上で保存にむけた方向性を示し実行せよ <p>2、来年度における保育園の定員オーバーの対応を求める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度の未満児童の増加による保育園の定員超過対策として中央保育園の休園時期を延ばし未満児専用として使用出来ないかを問う <p>3、業務の民営化を進めるうえでの職員待遇及び市民への不安解消対策のあり方を示せ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食調理のセンター方式移行や保育園の民営化によるパート職員や臨時の保育士の再就職の斡旋状況及び民営化による市民への不安解消対応を示せ
2	質問 (総括)	3 杉林 敏	<p>第2エコステーション設置について</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2エコステーション設置場所の候補地について <p>車道・歩道の舗装修繕について</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「市道一級幹線押野・横川線における舗装修繕」について ②「市道野々市駅・御経塚線の歩道整備」について
3	質問 (一問一答)	1 西本 政之	<p>I、発達障がい支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ①発達支援の専門部署を新設せよ <p>II、市立中学校の名簿について</p> <ul style="list-style-type: none"> ①男女平等・男女共同参画の観点から、性別で分けない男女混合名簿の採用を要請せよ
4	質問 (一問一答)	4 金村 哲夫	<p>1. 微小粒子状物質PM2.5対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所・小中学校への素早い情報伝達 PM2.5の観測地点である御経塚の測定結果を行政として保育所・小中学校または市民にどのような基準の場合に注意喚起を行うのか、また、どのような方法で行っているのか問う。 ・テレビの天気予報を活用 TBS系のテレビの天気予報で、関東地方のPM2.5の測定数値と予報を行っています。北陸地方でもその予報を活用できないか問う。 <p>2. 「子ども110番の家」の取組みの徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子ども110番の家」の設置状況 本市では、現在、何ヶ所「子ども110番の家」が設置されているか問う。 ・先生や親と一緒に「子ども110番の家」の確認 小学生が教職員・保護者と共に通学路の「子ども110番の家」の場所を確認していますか問う。 ・「子ども110番の家」参加者の協力による確認 「子ども110番の家」参加者の協力により、対応マニュアルの基、駆け込み訓練を実施すべきだと思いますが見解を問う。 <p>3. 拠点避難所と防災対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな拠点避難所を使った訓練 新しく変わった拠点避難所への避難を実際に行い、併せて周知をするような防災訓練を行うと聞きましたが、町内の自主防災組織が立ち上がっているところもあるので、せっかくなら市の防災訓練と共に行ってはどうか問う。 ・拠点避難所の備蓄状況 新しく変わった拠点避難所の金沢工業大学、石川県立大学、石川県立明倫高等学校の備蓄状況を問う。 ・誘導標識の進捗状況 昨年の12月議会で拠点避難所への誘導標識の設置を平成25年度に実現したいと答弁を頂きました。その進捗状況を問う。

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
5	質問 (一問一答)	7 早川 彰一	<p>福祉会館建設について 福祉業務や市民協働の拠点として総合的な福祉会館を建設してはどうか。</p> <p>交通政策について 市内への入り込み、また通過車両の増大により交通混雑が著しい。交通最適化政策の研究に本腰を。</p> <p>C I O（最高情報責任者）について 地方行政においても教育においてもますます I C T の役割が増大している。専門家を置く必要はないか。</p>
6	質問 (総括)	12 大東 和美	<p>1、歩道の安全性について ①不審者対策に配慮した通学路をもう一度作り直してはどうか。 ②旧・県立養護学校の敷地の真ん中に歩行者専用道路を作り、通学路として利用してはどうか。 ③通学路の安全対策、まずは事故の起きた個所の対応は、どのようになっているのか。</p> <p>2、増え続ける「ひとり親家庭」の支援について ①ひとり親家庭の支援の現状 ②ひとり親家庭の支援の今後</p> <p>3、野々市市のHPに載せてほしい情報 特に、福祉分野の情報提供において、申請書の一覧や、相談支援事業所一覧など、工夫は可能かどうか。</p> <p>4、女性防災士の育成について ①女性防災士資格取得の条件 ②女性の視点を取り入れるための対策 ③女性防災士の資格保持者数 ④防災士に準ずる育成 ⑤新たな組織の結成</p> <p>5、I T の活用とセキュリティについて ①ウインドウズの切り替えは済んでいるか。 ②セキュリティ対策について ③セキュリティ予算について ④情報発信の担当課を作り若い世代の育成で、地域活性化を図ってはどうか。</p>
7	質問 (一問一答)	13 村本 道治	<p>1. インフラの整備について (1) 災害に強い街作りのために新たに拠点避難所となった県立大学への導線確保など中林周辺の道路整備をとくに優先しては。 (2) 扇が丘ホテルの里公園のコンセプトには生き物が生息する環境整備をという意味があると思う。ぜひ市内の用水に魚など動物の生息する環境整備を願う。 (3) 高橋川の市道周辺の残地（新庄地内だけでも二箇所）がある。川の沿線各所にある残地を小公園として整備しては。</p> <p>2. 教育について (1) 富陽小学校の全児童を対象に行ったスマートフォンの調査を生かすには。 (2) 前問の扇が丘ホテルの里公園の整備に当時の菅原小学校の先生が関わっていたが異動によりホテルの夢も消えたと聞く。本市出身やゆかりのある先生・講師の構成比率を高めるよう努力しては。 (3) 深せん小学との交流をもっと深めてはどうか。</p> <p>3. 歴史・文化・伝統について (1) 県の10年ビジョンが数年前でたが、その中に次期県史にストーリー性を持たせるとあった。次期県史の構想に野々市からも多くを発信しては。 (2) 富樫氏の漫画本についての刊行スケジュール等を特に子ども達に周知しては。</p> <p>4. 平成26年度予算編成方針について (1) 国保・社会保険の収納率向上に鑑み医療費、介護費用等の抑制に努めては (2) 平成29年の椿サミット開催に向けて (3) 中央地区の土地利用計画について</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
8	質問 (一問一答)	16 岩見 博	<p>I. 秘密保護法について</p> <p>1. 自民党石破幹事長の発言に代表されるように、整然としたデモもテロとするなど、国民の表現の自由、知る権利など、自由と民主主義の危機に直面している。市長の基本的認識を問う。</p> <p>II. 介護保険制度「改悪」の動きについて</p> <p>1. 特養ホームへの入所要件が要介護3以上となった場合、今でも入所を待ち続けている家族は見放されることとなります。要介護1, 2の人たちの行き場はあるのか。</p> <p>2. 「要支援」事業が市に移った場合、これまで通りのサービスを市民に提供できるのか。</p> <p>3. 介護保険制度は、高齢者の老後の人権と尊厳を保障し、家族の負担を軽くするために導入されたはず。国に対し、「人的にも財政的にも国の責任を果たせ」と物申すべきではないか。</p> <p>III. 子育て支援について</p> <p>1. 保育料減免を同時入所でなくても対象に。</p> <p>2. 子ども医療費の窓口無料化を。</p> <p>3. 子ども医療費助成対象を高校卒業まで拡大する考えは。</p> <p>IV. 新図書館建設について</p> <p>1. 本市の人口規模と、石川中央圏に位置する図書館として、高いレファレンス機能を有した図書館、学校や行政への支援、ビジネス支援、子ども向け図書の充実が必要と思うが、どのような図書館を目指す考えか。</p> <p>2. 子供から高齢者まで、毎日市民が利用するという公共性が高い事業であり、建設にあたっては多くの市民の声が反映できるようにすべきではないか。</p> <p>3. 新図書館での事業を展開するには優秀な館長と優秀な司書の確保が重要になると思うが、今からその行動を起こす必要があるのではないか。</p> <p>V. 「よりそいホットライン」について.</p> <p>1. DVや自殺防止、生活、就職の悩みなど、様々な悩みを24時間無料で電話相談できる窓口で、H24年度1年間で1000万件超、石川県内からも4万件を超える電話がかけられている。チラシ、カードをダウンロードして市民に配布することや、バナー画像を市のホームページに張り付けてはどうか。</p>